



冬のトラピスト修道院

夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島

夕陽渡島

夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島

NO. 119
 平成25年 3月 1日
 夕陽会 渡島支部
 事務局
 八雲町・落部小学校

一樹百穫は人なり



夕陽会渡島支部副支部長
 鈴木 牧 男

「教員になりたい。」と言って、生まれ育った石川県から教育大学に入学するため函館に来ました。函館校での：(略)
 夕陽会報の「教壇で活躍する若き夕陽教師たち」の一文である。橋田会長が、子どもたちの先生になりたいという夢を奪ってほならないと函館校の複数学部構想に「物を申していく」と要請活動に天野副会長と奔走している。北海道の各首長が「地域に根ざした教育がなくなれば教育水準が下がってしまう。」と賛同を得る発言をいただいた。

「管子」のなかのことはばに

一樹一穫は穀なり
 一樹十穫は木なり
 一樹百穫は人なり

とある。「まちづくりは人づくり」とも言われる所以であろうか。先日の勇退者激励・感謝の会では、多くの先輩が勇退されるさまに、感慨深いものがあつた。社会は刻々と変化し、それにともなって教育界も大きく変遷した。しかし、この渡島の地で、どんなに時代が変わろうと、その都度子どもたちの学びと心豊かな人間形成のために、前向きに日々苦労を重ねられてきた。地域とともに人を育て、はぐくんできた功績は大である。母校の教育理念である「土地墾闢」が根底にある。その土地に住み、子どもを育てはぐくみ、子どもの夢・地域の夢を語り合う。ことばは少し乱暴かもしれないが、まさしく「地産地消」。その土地の気候風土歴史、そして、その土地にあつた教育。「地元の大学」「地元の名物先生」「地元のわらしやんと育てる」そんな思いが伝わるものでもありました。

夕陽の絆、「ああ、はぐくむ生命、夕陽とこしえに」、夕陽賛歌 此処にあり。

ご勇退される 方々より



ありがとうございます



北斗市立石別小学校
三原 満

最初の一步



北斗市立茂辺地小学校
塩見 利方

感謝の気持ちをこめて



北斗市立浜分小学校
北川 恵美子

昭和五十年七月、黒松内町立四町内小学校を振り出しに二町三十八年間の勤務生活も終わりになります。自分のような者が教師としてよくそんな長らく続けることができたものだと感心することがあります。それ支えよる先輩、同僚、後輩の七月の途中採用のため、右も左もわからぬままの学級担任、成績処理や分掌業務を抱えて困った時に教師としての心構えや仕事の先輩、後志夕陽会青年部の若い仲間達との酒を酌み交わしながらの教育論のぶつかり合いが励み道が拓けて行つた記憶があります。

また、長万部小学校時代は、大先輩である教育長から町長とご活躍なされた中村勉先生やその後世の教育長森野重雄先生に大変お世話になりました。同窓のありさまを知り、暖かく迎えてくれる同窓の方々に支えを入れてきたことに感謝いたし、深め共展することを祈りました。

ありがとうございます。

昭和五十年、教員としての第一歩を胆振の大滝小学校で踏み出した。当時の校長の言葉で今もはっきりと覚えているのは、「責任は私がとる。先生、何でも思い切つてやりなさい。」という言葉である。新任としてやる気満々だった私は毎日、何かやりたいことを探し、予算は校長に任せて、色々なことを実践していた。しかし、そのうち何か事故でもおこしたら、校長に責任がいく、どうしたらそうならないかを考えるようになった。大好きな校長、尊敬する校長を困らせてはいけないと、若いなりに考えていた。

この地から転動してからも校長の言葉を守って、子ども達といろいろなことを実践してきた。最初の一步が、これまでの教員としての資質を形成してくれたものと、今も思っている。

昭和五十年四月、音楽専科として赴任したのが函館市立若松小学校でした。古い校舎の思い出深い学校です。夕陽の先輩方から鼓笛隊や合唱指導などたくさんのお話を温かく教えていただきました。恵まれた教員生活のスタートとなりましたことに感謝しております。

紋別市・網走市・釧路市など道東の地に赴任した時にも夕陽の先輩方が多く、いらつしやりにとても心強く感じておりました。

釧路市立東中学校では合唱部や学級の活動を通して充実した時間を過ごすことができ、教育の現場にいる喜びが財産となりました。この経験が退職まで勤めることができた原動力であると思っております。

周りの皆様と共に過ごせた充実感や感動があつてこそ三十八年間であつたといっぱいです。感謝の気持ちでいっぱいでした。皆様ありがとうございます。

出会いに感謝！



北斗市立高川小学校
伊藤 法雄

今は閉校となりました八雲町立大関小学校を振り出しに、教職生活がスタートしました。

当時、極小規模五校による集合学習「やまびこ学級」が行われていました。若い先生たちばかりが、日頃の教育への悩みや夢を語るなど、交流を深める場でありました。その仲間との出会いが、夕陽との出会いでもあり、新米教師として、先輩の先生方の背を見ながら、色々と学ばせていただきました。まさに自分に課せられた教育の原点がそこにありました。今日まで、諸先輩や同僚から支えられ、温かく見守っていただき、心から感謝申し上げます。

大変な時代を迎えつつありますが、これからの夕陽会の充実・発展と皆様のご活躍をお祈りいたします。



渡島支部の益々の発展を！



七飯町立七重小学校
類 家直人

長万部小学校を振り出しに、渡島管内の幾つかの学校でお世話になりました。縁があつて、附属小学校に勤務することになり、必然的に夕陽会本部の様々な業務に携わることができました。特に、本部の副幹事長（兼庶務部長）の際には、全国・全道の各支部長の方々に世話になるなど、改めて夕陽の絆を実感させられました。渡島支部では、副支部長として、各支会の総会などにおじやまさせていただき、各支会の方々と懇親を深めさせていただきました。その中で、歴代の支部長や支会長の方々が、夕陽会本部の土台骨となる渡島支部を、発展させてきていることを実感しました。心から敬意を表する次第です。

最後になりましたが、長い間、お世話になりました。誠にありがとうございました。今後の夕陽会渡島支部の益々のご発展をご祈念いたします。

夕陽の皆様へ感謝



七飯町立鶴野小学校
小 熊 隆 志

昭和五十一年卒で、初任は長万部中学校でした。採用までは、森町の尾白内中学校で時間講師をしていましたが、同窓の夕陽会の先輩の皆さんにいろいろな面で助けていただいたことを覚えておきます。

また、長万部支会の方々、異動した先の渡島支部各支会、函館支部でも多くの方にお世話になりました。先日、教育大理科の同期会が開かれ、集まった同期の皆さんも全国各地で活躍されていました。夕陽会の皆さんのたくましさや結束の強さを改めて感じました。

七飯町では、現役の夕陽会員より多くの同窓の先輩がおり、総会や懇親会ではパワーと夕陽に対する強い思いを感じる事ができました。これまで、渡島の教育に携わってこられたのも、これまでに出会った夕陽会の皆様のおかげと感謝しています。これからも、夕陽の絆が強く結び、さらに発展することを願っております。





夕陽会に感謝



七飯町立大中山小学校
市川 秀雄

昭和五十年四月、小さなフェリーに揺られて奥尻町立青苗小学校に赴任しました。島での心細さを紛らわしてくれたのは、夕陽会の先輩や同期でした。その後、渡島に移り吉岡小学校でも公私共に夕陽会の皆様に変なお世話になりました。

平成九年に峠下小学校に教頭として着任した時、その在り方をご指導いただいたのも、校長になってから支えて下さったのも夕陽会の皆様でした。

その間に渡島支部の役員に加えていただき、多くのことを経験することができ、途中の渡教連協会長の一年間を除き、十四年間務めさせていただきました。その渡教連協の研究集会でも夕陽会の皆様にお世話になり、滞りなく終了できました。

三十八年間を振り返りますと、常に夕陽会があり、心より感謝いたしております。

初志は貫徹できたか



七飯町立七飯中学校
前田 治彦

人生の師から教員ではなく「教師」になれと教えられました。教頭職最初の校長から次のように指導されました。「孤立と孤独は違う」「退職する時後を振り向いたら誰もいなかったと、ならないように」「未来から後ろ指を指されることのない実践を」。以来、持ち続け職務に当たってきたつもりです。昇任した時、初めて担任をした生徒達がお祝いを開いてくれ、こう言いました。服装はきちんとした、言葉遣いは丁寧で、子どもたちには優しくと。「奥さんの言うことはきちんと聞きなさい。」「お酒は飲み過ぎないように」とまで。その子は既に五十歳になつていて。春からは重責から解放されます。少しゆとりが出ます。かつての生徒たちとお会いし、自分を振り返り仕事の効果を検証するために、社

会には迷惑だと思ふが、もう少しだけ長生きしてみたい。

多くの支会をまわって



森町立濁川小学校
橋本 公伸

松前支会を皮切りに、函館支部・南茅部支会、八雲支会、恵山支会・七飯支会、北斗支会、森支会と渡島の支会を八つも廻ることができました。

最初の松前支会の懇親会では夕陽という会について初めて知り、その活力と多くの諸先輩に激励され、頼もしい存在に感じた記憶が残っています。函館に勤務してからの思い出としては深堀小時代に函館支部の事務局校で、当時の藤谷利春校長が、六百人以上集めると張り切り、その名簿を徹夜で打った事が思い出されます。まさに大懇親会だったと記憶しています。その後、再び渡島各地を廻り、それぞれの地で同窓の絆を深め、その地に在住の大先輩から楽しいお話や激励を受けました。遠い地ほどその絆は深かったです。今後、大好きな夕陽讃歌が歌い継がれんことを祈ります。

迷いながらも…



八雲町立東野小学校
秋松 まゆみ

「青春時代が夢なんて後からほのぼの思うもの青春時代の真ん中は道に迷っているばかり」
大学時代の自分はまさしくこの歌の通りだったなと思います。研究室、講義室、部室、食堂、階段、ロビー、そして、美しい夕陽に包まれる校舎：記憶の断片とともに思い出されるのは、海のものとも山のものともつかない、いつも不確かな自分。
でも、少しのほろ苦さとともに今確かに思うのは、あの時代があったから、今の自分があるということ。今は亡き親友との語らい。道に迷いながらも何かを模索し続けていた日々。すべてかけがえのない青春時代――。
あれから三十八年・相変わらず模索しながらも、なんとかここまで歩んで来られましたのは、支えて下さった多くの方々のお陰と、心から感謝しております。

同窓に感謝



八雲町立野田生小学校
五十嵐 義彦

初任の頃は、夕陽を意識したことはありませんでした。
ただ、気がつけば周りは夕陽の先輩ばかり。それが当たり前で、何の疑問も持たずに安心して甘えていました。松前町立白神小学校。残念ながら今年度で閉校しますが、私の大切な教師としての出発点です。ここでの六年間は、教員を続けていくための財産を、たくさんいただきました。感謝の一言です。
同窓と言えば、私は昭和五二年卒で専門は理科でした。当時から結束力が強く、今でも「理科五二の会」と称し、卒業以来毎年同期会を開き、現在三十六回目を迎えています。三十五名の同期は全国各地に散っていますが、住所録を作り、全員と連絡を取っています。同期会には多くは集まりませんが、エネルギーをもらえる素晴らしい会です。
本当に、同窓に感謝です。



平成25年度 全国支部長会議・本部総会・懇親会

■期 日 平成25年6月22日(土)
■会 場 函館国際ホテル 函館市大手町5-10
☎0138-23-5151

- ・全国支部長会議 午後1時30分～午後3時30分
 - ・総 会 午後4時～午後5時
 - ・大 懇 親 会 午後5時30分～午後8時
- ※終身会員で参加を希望される方には、会費等について、後日、幹事長から御連絡致します。



会務中間報告

〔24年度〕

5月12日(土)

平成24年度支部総会・大懇親会
(新会員歓迎会)を開催する
(ホテル函館ロイヤル 参加者
145名)

鹿部支会総会・懇親会に出席す
る

23日(水)

(本部・奥崎幹事長 支部・市
川支部長)

本部第3回役員会に出席する
(附属小 市川支部長 高橋幹
事長)

6月1日(金)

松前支会総会・懇親会に出席す
る

7日(水)

(本部・橋田会長 奥崎副幹事
長 支部・竹内顧問)

知内支会総会・懇親会に出席す
る

8日(金)

(支部・鈴木副支部長)

本部第4回役員会・顧問参与会
議に出席する

(国際ホテル 市川支部長 高
橋幹事長)

13日(水)

紺野則子(谷川小学校教諭)様
ご逝去に弔電、弔花、香典をお
くる

16日(土)

本部全国支部長会議に出席する
(国際ホテル 市川支部長)

本部総会・大懇親会開催される
(国際ホテル 支部参加者61名)

18日(月)

夕陽「明日の教師養成塾」の案
内を各支会に発送する

21日(木)

北斗支会総会・懇親会に出席
する

(本部橋田会長 支部・佐藤副
支部長)

22日(金)

〔会費納入のお願い〕を発送する

26日(火)

第1回支部役員会議の案内を発
送する

28日(木)

第1回支会長・幹事長会議の案
内を発送する

7月7日(土)

夕陽「明日の教師養成塾」が開
催される(支部関係者7名参加)

9日(月)

第1回支部役員会議を開催する
(大中山小学校)

7月13日(金)

七飯支会総会・懇親会に出席す
る

9日(月)

(本部・橋田会長 支部・市
川支部長)

29日(日)

森支会総会・懇親会に出席する
(本部・天野副会長 支部・佐
藤副支部長)

20日(金)

木古内支会総会・懇親会に出席
する

20日(金)

(本部・平田副幹事長 支部・
鈴木副支部長)

8月24日(金)

夕陽渡島N.O. 117号を発行
する

9月5日(水)

加藤宏文様(終身会員)ご逝
去に弔電と香典をおくる

11月13日(火)

阿部俊浩(東野小学校教諭)様
ご逝去に弔電、弔花、香典をお
くる

29日(金)

平成24年度「勇退予定者」の確
認を開始する

12月13日(木)

平成24年度「勇退者激励感謝の
会」の案内発送を開始する

16日(日)

小澤喜雄様(終身会員)ご逝去
に弔電と香典をおくる

25日(火)

夕陽渡島N.O. 118号を発行
する

1月4日(金)

会員名簿(平成24年度版)配布
を開始する

19日(土)

平成24年度「勇退者激励感謝の
会」の各種依頼を開始する

29日(火)

第2回支部役員会議を開催する
(大中山小)

2月9日(土)

第2回支会長・幹事長会議を開
催する(ホテル法華クラブ、本
部・橋田会長)

15日(金)

函館支部受賞祝賀会に出席する
(ロワジュールホテル函館)(佐
藤副支部長)

3月1日(金)

夕陽渡島N.O. 119号を発行
する

終身会員の皆様へ

「平成二十五年度 渡島支部
総会・懇親会」(新会員歓迎会を
兼ねる)を次のとおり開催しま
すので、御案内申し上げます。

◎期日 五月十一日(土)

◎総 会：午後三時より

◎大懇親会：午後五時より

◎会場 ホテル法華クラブ函館

◎会費(終身会員) 六千円

◎申し込み締め切り

◎四月五日(金)

◎申し込み方法

◎同封の葉書にて

あとがき

御勇退される方々の特集号
「夕陽渡島」第百十九号をお
届けいたします。御勇退され
る皆様には大変お忙しい中、
御寄稿をいただき、心から感
謝申し上げます。また、今年
度も会員の皆様には多大なる
御協力を賜り、予定どおり発
行できましたことに心からお
礼申し上げます。